

#### R4.1.7 3学期始業式 校長講話内容

- おはようございます。冬休み、皆さんはどのように過ごしましたか？
- 年末年始のこの期間、大きな事故等の連絡もなく今日を迎えることができ、うれしく思います。
- ただ、オミクロン株による感染者が急増しています。感染症対策は引き続き続けていきましょう。
- さて、令和4年（2022年）は干支でいうと寅年です。
- 紀元前の中国で、暦や時間を表すために使われ始めたのが起源の十二支、子（ね）、丑（うし）、寅（とら）、卯（う）、辰（たつ）、巳（み）、午（うま）、未（ひつじ）、申（さる）、酉（とり）、戌（いぬ）、亥（い）の12種類の動物によって構成されています。
- なぜ、この順になったかという話は、皆さんも聞いたことがあるかもしれません。知らない人はまた調べてみてください。
- 狭山中通信にも書きましたが、寅年の「寅」という字には「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味があります。
- これまで狭山中を引っ張ってきた3年生、卒業まで約2か月になりました。
- 入試を控え、落ち着かない日が続きますが、自分の進路です。自分の力をまっすぐに伸ばして次の進路を切り拓いてください。
- 1・2年生は、チャレンジテストを控えています。
- このテストは大阪府がその学年でつけるべき「教科の力」が身についているのかを確認するために実施しています。自分はどこができて、どこに課題があるのか、確認する機会にしてください。
- 私は皆さんに教科の力が高まるだけではダメだと思っています。「自ら考え学ぶ力」が必要だと考えています。
- 例えばある会社の入社試験では「マンホールのふたが四角ではなく、丸いのはなぜか？」という問題がでたそうです。どうですか？これは今までの知識や経験で何とかわかりますよね！
- 「スマホ」で有名な会社であるA)、以前は「Aコンピュータ」という会社名でした。ではなぜ、「A」に社名を変更したのでしょうか？
- これは色々なことが背景にあると思います。
- テストや入試で測ることができる力は「学んだ内容をどれくらい憶えているのか」に重きが置かれていますが、それだけで十分とはいえません。

○身に付けた「知識」を活用し、色々な考えを持つ人とつながり、やり取りしながら目の前の課題を解決していく。このような力が必要です。

○人とつながるためには、相手のことを理解しようとする思いやりの心、また状況に合わせた言葉遣いや服装なども大切です。

○自分の力を着実に伸ばす学校生活を送ってください。以上で私の話を終わります。